

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		保護司会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	財津公正
	施策	2	防犯対策の推進			所属課	総務課	担当者名	大賀盛博
	基本事業	8	防犯意識の高揚			所属班	交通防災班	(内線)	1212
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 10033	法令根拠	保護司会法		成果優先度評価結果 : ⑨ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・犯罪予防運動、犯罪を犯した者の更生等の行う保護司会の支援事業である。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・負担金の支出・研修への引率
【主な予算費目】	・負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	・保護司会運営活動費の負担と研修引率を行い、活動を支援した。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		・保護司会研修の引率。 ・保護司会へ負担金。 ・新任保護司候補者の内申書作成。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ア: 関連行事参加のべ人数		・前年度並み
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・保護司会		→ア: 会員数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 回	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・目的に沿った活動を行なえるようになる。		→ア: 保護司会合志分会実施事業数
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
・保護司としての職務を円滑に行うことができたかどうかを判断するには、保護司自身に回答をもらうこととした。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	人	259	307	260	322	270	280	290	300
	イ									
②対象指標	ア	人	21	20	22	0	22	22	0	0
	イ									
③成果指標	ア	回	36	38	38	0	38	39	39	0
	イ									
投資入量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	74	74	74	74	74	74	74
		(A)事業費計	千円	74	74	74	74	74	74	0
		(A)のうち指定経費	千円	74	74	74	74	74	74	74
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	3	2	0	2	2	2
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	52	53	50	0	50	50	50	
	(B)人件費計	千円	211	211	199	0	199	199	199	
トータルコスト(A)+(B)		千円	285	285	273	74	273	273	273	199

事務事業名	保護司会活動支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 26年度において、保護司の活動は円滑に行われており、27年度も同様にこれを行っていくものである。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・現在、保護司の活動は円滑に行われており、これを維持していくものである。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・保護司会への支援を行う事業は本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・負担金のみの支出であり、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・負担金支払いと研修の業務であり、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・犯罪を犯した者の社会更生を行なう保護司の団体である保護司会の運営を支援することが目的であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・保護司会の活動は青少年の健全な育成と罪を犯した人の更生を目的としており、これは安全安心なまちづくりに寄与する活動であるので、市での支援が適切である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

保護司が犯罪や非行を犯した人の更生を行なうことにより、犯罪発生抑制となる。  
また、中学校等と連携した活動により、犯罪の未然防止活動も行なわれており、保護司会の活動は地域の犯罪抑制に大きく貢献していると感じられる。  
保護司会の円滑な活動のため、今後もこの連携を維持していかなければならない。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						